

総合病院  
水島協同病院  
倉敷市水島南春日町1-1  
代表 086-444-3211  
外来 086-444-1222



日本医療機能評価機構  
「信頼の病院」マーク  
ISO9001 認証取得

# 水島協同病院 だより

No. 330  
2022. 1月号



水協のホーム  
ページもご覧  
ください

<http://www.mizukyo.jp>

【病院理念】 いつでも、だれもが、安心してかけられる医療を追求します。



## 新年のごあいさつ

明けましておめでとう  
ございます。  
今年、寅年と言うこ  
とで、エネルギーに満ち  
た元気な一年となること  
を願っています。「虎は  
千里往って千里還る」と  
いう格言の如く、虎は優  
れた身体能力と行動力を  
もっていると考えられ、  
中国では獣のなかの王者



▲山本院長が書いた2022年抱負を  
表す漢字1文字は活動の“活”



一昨年から続くコロナ  
禍で、皆さんの生活スタ  
イルも大きく変化してし  
まったことと思えますが、  
マスク生活が続くため、  
インフルエンザは流行せ  
ず、呼吸器感染症は激減  
したという事実もありま  
す。そして、当生協におい  
ては、年間1万を超える  
班会が開催されていて、コ  
ロナ禍においても活発な  
活動が続けられています。

感染予防対策のためど  
うしても大人数の集いが持  
てない状況はありますが、  
今年も医療生協の活動が  
エネルギーに満ちたもの  
になるように共に力を合  
わせて行きましょう。

尚、病院に入院される  
際は、面会制限があるた  
め、大変ご迷惑をおかけ  
しておりますが、今しば  
らくは、ご容赦願います。

院長 山本 明広

水島協同病院では無料・低額診療事業を行っています

### 連載 みずきょうの診察室から

## 救急総合診療はこんな時 すぐに役立ちます



やまもと ゆうき  
内科医師 山本 勇気

2019年から勤  
務しています救急総  
合診療を担当してい  
る山本です。

救急総合診療とは  
何ぞや、という方も  
おられると思います。  
昔の賢い人は「困  
難は分割せよ」と言  
ったそうです。診療  
はそのままなので  
「救急」「総合」に  
分けてみます。

救急は頭痛や腹痛  
が急に出たとき、あ  
るいは救急車で運ば  
れたときに診てもら  
うところですね。急

な症状であることが対象  
になるので分野は多岐に  
わたります。

症状の原因が、心筋梗  
塞や虫垂炎などの病気と  
診断される、疑われる場  
合には循環器内科や外科  
に診療をお願いして、そ  
の場で解決できる病気は  
救急科で対処を済ませて  
しまいます。

また、救急に来る命に  
かかる重篤な患者さん  
に、いち早く診断・初期  
治療を行うのも大事な仕  
事のひとつです。

次に「総合」ですが、イ  
マイチぴんときませぬね。

元の英語では「general」  
になります。全般的とか  
包括的という意味もあり  
ます。

特定の分野の病気や臓  
器、心臓、胃、眼、とか  
ではなく患者さんを全部  
まとめて診ますよ、とい  
う意味がこめられていま  
す。仕事や家族や住んで  
いる家や大事にしている  
ことなども含まれます。

そんなわけで救急総合  
診療はいつでも、どんな  
患者さんでも、どんな問  
題でもウエルカムです、  
どうぞよろしく願いま  
す。

## いつまでも元気に歩けるように

### 当院での下肢治療の試み



外科医師  
藤本 竜平

みなさんは自分の足についてどれほど興味をお持ちで  
しょうか？

私は二年前より水島協同病院で診療させていただいて  
おりますが、それ以前から下肢の診療を行ってきまし  
た。下肢は歩行という人間の原始的な移動手段に必要不可  
欠です。また、運動機能のみでなく、全身の循環におい  
ても大事な機能を果たしており、下肢の循環不良を起こ  
すと、足がむくんだり、痛みが出たり、足に色がついた  
りと、さまざまな変化が起こってきます。

これらの変化は、普段あまり自分の足を見ない方では、  
気づかない内に進むこともありますし、変化に気づいた  
としてもあまり大したことではないと放置しておく方も  
多いように思います。実際これらの症状が直接生命に関  
わることは少ないですが、日常生活を営む上では厄介で  
あり、徐々に歩行機能に影響をおよぼし、歩行困難とな

脈学会の認定する「弾性ストッキング・圧迫療法コンダク  
ター」の資格を、私と当院皮膚・排泄ケア認定看護師の平  
良師長で取得しました。そして、当院において静脈機能  
不全にともなう難治性下肢潰瘍に対する圧迫処置療法が  
施行できるようになりました。そのほか、下肢診療におき  
ましても当院外科外  
来で行っております。  
皆さんに、いつま  
でも元気に歩いてい  
ただけのようにして  
いきたいと思いま  
す。何かお困りのこと  
がありましたら、当  
院外来にご相談くだ  
さい。



▲認定証とバッジを手にする2人  
左が筆者、右は平良看護師

る方も少なくないよ  
うです。  
さて、そんななか  
当院での下肢診療の  
後押しとして日本静